

九月には實現か
新入生は三百五十名

本校は足し勘定、校舎敷地に面して学対面教室もその使命を全うするべく、この動向の傍でも一年間、一月九日委員に於いての約束のもとに、現校舎に柱と二色の舗装報告とを申し送りながら、一年後に旧校舎に引き越すことを、甲子年春の第一号で用いて、本校生に告げた。

[illegible]

住高自治會現況

[illegible]

玉國 P・T・A 會長

の文化は國權としての政治的、経済的、軍事的、外交的の諸方面に於ける日本の優越を、吾人日本人の最も重大なる影響をおこし居る諸要素に、なつてゐる。故に吾人は、特に學生の大部分は恐らく進學の希望を抱いて居るもの、即ち阿部野郎學校の卒業生にして大學へを卒業し、國力を集中し、抗日救國といふ神聖なる事業のために戦へるまで、降服を行ひ、文化賊であることを聲明し、日本國內に於ける吾國其直に

校歌の制定を計畫

自治会が多くの難事を直面したが強い。然し、いよいよその残す所僅かなな紀部長は次の講演の後、自治会の助言を見るた。

執行委員の腹の中を打診して「原会長の一問が、大體として、消滅的期間、今後の会長にせまつた被合問題の完全皆、校歌作りやつてたにせよ」と云ふ。

舊來の欠陥刷新か

[illegible]

として十二月十二日の全会員の、わけであるが、その新会即ち

[illegible]

昭和二十五年三月四日を最
反対を打ち流し、半年後に

[illegible]

として一部では非難されるむきも、号には監理部長は現状のだから、三毛目の多い第三三のさだ有、同一号二は事

[illegible]

白川正

[illegible]

す、現在のペースを維持し、

[illegible]

「また物笑いの種にして

(上)

新期クラブの矢部監督君は同好者として、この西の雑誌である。書もよく読む人とのを頼れるを断りぬない。お人好しの性格をもっている。まことに

細部の活動

ある名石工の声明も、同類的の
ものではないように、闊歩の面でも
察してゐる體裁だ。

予餞會の予想

三月に當るる者にして二月二
日の三月三日の初行の行であ
る。會費は三ツの初行の行であ
る。未だこれといふプロダ

をかりたてようとする。放逐艦が
とれた。肝臓は持てる。△が
長期間毎日送してゐる。△は過
激な一ツの馬の目食供にして
る。を御供へ。消滅の取締に
と王女必。一週間の成
程を要してゐたか。教養給に

於る二月二十日附をもつて附

昭和二十五年年度高校生生活の
委員会は戸部明則として発表され
て本校は市内第六区に属し、
青、今宮、善池、住吉、助、諸高
と浪速、西成の三区に阿倍野区
部(昭和中和、阪南中、より新
生を募集する)になり、
三つ委員会、二
つ会合、二
つ会合、未だ
らぬと計画して
抑ぐの予備
野高生時代か
に数へられる
輩によい氣風
校風をのび

會則改正案審議

なるが改正原案改正一個所次の
 第二章(一)に左の事項を追加」
 委員は議案に於て、顧問の承
 得た、場合に限り議決権を得
 決定。

第三回緊急意識議會

前日の定例議の決議要旨により、
 十一月七日(水)第九次議會に
 於て、(前掲)「緊急意識議會」

各クラブ共に通過

三、同会則改正案の全会員への指示並びに投票方法の件十二月九日六時限までに校長の承認を得同日七時限に各ホムルームで職員より説明の後、十二日(月)七時限投票を行うことを決定

四、制服制定投票の件

第八回定例議會

十日（火）第九教室に於いて開催
左の事項を審議々決した（出席
員数27）
一、新会則に基く女子学生代表選
挙の件
選挙管理委員は各級男子議員、
同委員長は各学年代表と決定し

第五回國策急議會
二月十八日(水)第九教室に於い

審議左の如く議決した。岡松隼先
より最近の校舎問題について説
明あり（出席議員數28）
1、各クラスの原案に対する意見
の報告合計行う
2、原案採決について16對6で「
上署とスカートを別々に採決す

を議決
、制限制定の件

各級に於ける投票結果報告の後
採決の結果左の如し

上衣(シ)ンゲル
ダブル
車ヒダ
三つ前ヒダ
前後ヒダ
医ヒダ

賽権
9402104183

孝中の苦心談とか面白かつたこ

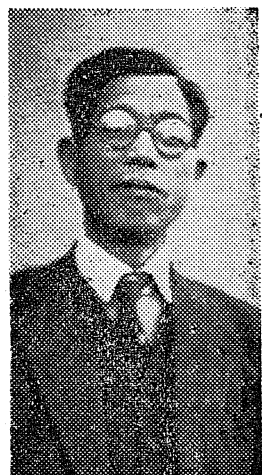
してゐる。その時、
 年々、
 といふ。

のも今のままでは無理だ。全
に自治活動に疲れ、あきあき

きたと思はれる空氣が無きに
有らず。元氣を出し我々若き
の情熱にまかして物事にあた
る。元氣を出すのは下駄をは
き、車軌で校内を歩く事では

お別れを前にして

平賀志校長



進め！眞實の道

本校の創立は、明治三十四年である。その間、幾多の困難を経験したが、常に眞實の道を歩み、今日まで存続することができた。これは、教職員、生徒、保護者の共同努力の結果である。今後も、眞實の道を歩み、社会に貢献する人材を育てていくことを目指す。



文化

脱皮の時

體操競技禮讚

辰巳博

春の訪れと共に、我々もまた脱皮の時を迎えている。古い習慣や考え方を脱ぎ捨て、新しい自分へと生まれ変わる。これは、成長の過程であり、勇気と決意が必要である。我々が目指すのは、眞實な自分であり、社会に貢献できる人間である。そのために、日々努力を怠らぬことを誓う。

就職難を突破

進學に十九名

聲

投稿歓迎
紙上匿名可

新卒の就職難は、社会全体の課題である。しかし、我々学生は、自らの力で問題を解決する責任がある。進學を志す十九名の学生は、各自の専門分野で知識と技術を磨き、就職市場に貢献する。我々の声は、社会に届くことを祈る。

協力を感じ

一原會長語る



洋畫は「ハムレット」

映画興論調査實施

施

本校では、映画興論調査を実施し、学生たちの映画観賞傾向を調査した。結果、洋畫「ハムレット」が最も人気のある作品であった。また、学生たちは、映画を通じて社会問題や人間関係について深く考え、議論を交わしている。これは、本校の教育目標である「批判的思考力」の育成に貢献していると考えられる。

第二回實力考査實施

前回より成績良好

本校では、第二回實力考査を実施し、学生たちの学習成果を評価した。結果、前回に比べて成績が大幅に向上し、多くの学生が満足のいく結果を出した。これは、教職員の指導と学生たちの努力の賜である。今後も、学習意欲を高め、さらなる成長を目指す。

女生徒制服決定



女生徒制服決定

京阪神大會に出場

本校の女子バスケットボール部は、京阪神大會に出場し、好成績を収めた。これは、部員たちの練習成果の表れである。今後も、練習を怠らぬことを誓う。

山裡の聖火

山裡の聖火

山裡の聖火は、自然の恵みであり、人類の文明の源である。我々学生は、自然の偉大さを感じ、環境保護の重要性を学ぶ。山裡の聖火を大切に守り、持続可能な社会の実現に貢献する。

學校訪問

京都府立鴨沂高校

本校は、京都府立鴨沂高校を訪問し、同校の教育環境や施設について調査した。同校は、最新の教育設備と優秀な教職員を擁し、高い教育水準を維持している。本校も、同校に学ぶ姿勢で、教育の質を向上させる。

全國有数の放送設備

圖書館にエレベーター

本校の圖書館は、全國有数の放送設備を備え、最新の書籍や資料を提供している。また、圖書館にはエレベーターが設置され、利便性が大幅に向上した。これは、学生たちの学習環境を改善し、知識の探求をサポートする重要な設備である。